令和８年度第１回堺市バリアフリー化検討委員会　議事録

開催日時	令和８年９月 18 日（金）午後２時～午後３時 30 分
開催場所	フェニーチェ堺　大スタジオ
案　件	１．堺市バリアフリー基本構想（堺駅・堺東駅周辺地区、中百舌鳥地区）で位置付けた事業の進捗状況について ２．堺市交通バリアフリー基本構想（三国ヶ丘駅周辺地区・JR 堺市駅周辺地区）で位置付けた事業の進捗状況について ３．堺市バリアフリー基本構想（三国ヶ丘駅周辺地区・JR 堺市駅周辺地区）の策定について ４．泉ケ丘駅前地域の再編整備事業について
配布資料	・次第 ・資料１　堺市バリアフリー基本構想（堺駅・堺東駅周辺地区、中百舌鳥地区）で位置付けた事業の進捗状況について ・資料２　堺市交通バリアフリー基本構想（三国ヶ丘駅周辺地区・JR 堺市駅周辺地区）で位置付けた事業の進捗状況について ・資料３　堺市バリアフリー基本構想（三国ヶ丘駅周辺地区・JR 堺市駅周辺地区）の策定について（２地区の状況） ・資料４　泉ケ丘駅前地域の再編整備事業について ・資料４－１　泉ケ丘駅前南エリアの再整備事業の概要 ・資料４－２　商業施設・分譲タワーマンション配置 ・資料４－３　コンコース工事の状況 ・資料４－４　仮設エレベータについて ・資料４－５　工程表

（１）開会

挨拶（委員長）

挨拶（副委員長）

挨拶（新任委員）

（２）案件

１．堺市バリアフリー基本構想（堺駅・堺東駅周辺地区、中百舌鳥地区）で位置付けた事業の進捗状況について

（事務局から資料１について説明）

○委員からの意見、質疑等

●委員長
ただいまの説明に関してご意見、ご質問はないか。

●土屋委員
堺駅・堺東駅周辺地区、中百舌鳥地区も現地を歩いた。そのときに点字ブロックの摩耗について改善いただきたいと要望した。点字ブロックの摩耗している部分の改善は今の報告の中にあるか。

●委員長
既に敷設済みの視覚障害者用誘導ブロックが摩耗して改善が必要というご指摘だったと思う。維持管理の対応になると思う。この資料の中には位置付けられていないと理解しているが、事務局は何か把握されているか。

●事務局
維持管理については土木部で整備していただいている。この資料については新しく生活関連経路に指定したところについて、新設の誘導ブロックの改善について着工予定ありと報告を受けているところである。

●建設局
点字ブロックなどの維持管理に関しては、現場を確認し、危険な箇所を発見した際には修繕をさせていただく。全体的なすり減りなどに関しては、現地の状況を見ながら順次対応しているところである。今回のご意見を踏まえて再度現地を確認し、順次対応させていただく。

２．堺市交通バリアフリー基本構想（三国ヶ丘駅周辺地区・JR 堺市駅周辺地区）で位置付けた事業の進捗状況について

（事務局から資料 2 について説明）

○委員からの意見、質疑等

●委員長
この後、案件 3 で議論する三国ヶ丘地区、JR 堺市駅周辺地区の基本構想の見直しを行っていくわけであるが、その前の交通バリアフリー法に基づいた基本構想の進捗報告という内容になっている。概ね整備が完了しているということで、この 20 年の間、着実に整備していただけていることがわかる。一部未整備の箇所も残っているということで、そこも含めて案件 3 では新しい基本構想改定版に向けての基礎資料ということでご報告いただいた。

ご質問や、ご確認、ご意見などはあるか。よろしいだろうか。

この内容については次の案件 3 と一緒に確認いただき、ご意見をいただいたほうがよいと思うので、先に

進めさせていただく。

３．堺市バリアフリー基本構想（三国ヶ丘駅周辺地区・JR 堺市駅周辺地区）の策定について

事務局から資料３について説明

○委員からの意見、質疑等

●委員長

案件３、今後作っていく三国ヶ丘地区、JR 堺市駅周辺地区の基本構想にあたって、重点整備地区の範囲や経路ということで、新しい施設ができたり、施設は以前から立地していたが経路が位置付けられていないものもある。そのあたり、市民の皆さんの視点から、大事なポイント、押さえておいてほしいことなど、どんなことでも構わないのでご意見を賜りたい。

●土屋委員

三国ヶ丘駅を私はよく利用するのだが時間帯によってタクシー乗り場が違う。明確にここがタクシー乗り場ということが決まっていないように思う。いつもタクシーが来るところで待っていたら、全然違うところにタクシーが停まっていることも多々ある。雨が降ると特にタクシーは混む。明確な「タクシー乗り場」という明記、停まるところを指定していただきたいということが１点目である。

２点目、JR 阪和線の堺市駅について、去年まで人がいるみどりの窓口があったが、それがなくなり、非常に困っている。この界隈で人のいるみどりの窓口に行こうと思うと、鳳駅まで行かないといけない。非常に困っている。いい対応はあるか。

点字ブロックを新しいところにつけていただくのは大変ありがたいが、20 年もかけていろいろ計画してきているので、20 年前につけた点字ブロックが摩耗したり、わかりにくくなっている部分も多々ある。新しく作っていただくのはありがたいが、過去に作られたところ、一度整備されたところを見直す観点もお願いしたい。

●委員長

土屋委員からは３点ご意見があった。三国ヶ丘駅のタクシー乗り場の位置が時間帯によって異なっている。運用上、そうされているのか私は現地のことがよくわからないが、そのあたりも含めて建設局からご回答いただきたい。

視覚障害者用誘導ブロックの維持管理についてどのように行われているのかについても教えていただきたい。

●建設局

三国ヶ丘駅のタクシー乗り場について、建設局でも改めて確認し、関係部局と調整、協議することを検討する。

●西日本旅客鉄道

みどりの窓口について、人手不足の関係から出札業務の見直しを進めているところである。みどりの窓口に関しても設置数が少なくなっている。こちらについて労働人口減のところもあり、ご理解いただきたい。

インターネットによる特急券の予約サービスを JR 東海、JR 九州をはじめ、運用している。視覚障害者

の方の障害者割引もインターネットのサービスで対応できるため、そちらもご利用いただきたい。

●委員長

JR 西日本は障害者割引のインターネット予約は既に始められているのか。9 月か 10 月から始められるとお聞きしている。

●西日本旅客鉄道

先日プレスリリースをした。システムの移行期間があり、正確な日付は確認して回答したい。

●委員長

先日、車いすユーザーの人と予約をしに行ったときにはまだ対応できていなかった。近々インターネットで WEB 予約ができるようになる。使い方をマスターすれば少し便利になると思う。

みどりの窓口がないという不便さは、それ以外のさまざまなものもあるので、みどりの窓口がなくなったことによって、代わりにみどりの窓口プラスみたいな大きな券売機があって、音声でも相談できる券売機が設置されている。それの使いやすさ、視覚や聴覚に障害があっても本当に使いやすく使えるものになっているのかということについては検証が必要だと思っている。土屋委員、ご意見はあるか。

●土屋委員

確かにネットで予約もできる。私はたまたまスマホを使えるので利用できるが、多くの視覚障害者はスマホの操作ができない。また夫婦ともに視覚障害者であり、高齢化しておりなかなかインターネットを使えないという人が非常に多い。

私もインターネットで予約できるが、予約したものを発券するのにもう 1 回駅に行かなければいけない。例えば、新大阪で 9 時の新幹線に乗ろうと思って 10 分、15 分前に行って発券できるものではない。非常に混んでいる。見えていないとどこに並んでいいかわからない。予約しても発券するのが非常に難しい。インターネットで予約しても、結局駅の窓口に行って券に換えてもらわなければいけないという作業がある。スマホで便利というのではないと思う。視覚障害者は特にそうだが、インターネット環境を使いこなせない場合が多い。検討いただき、将来的にはチケットレスになると便利だと思うが、それでもインターネットを使えない人もたくさんいるので、そういった方にとってはみどりの窓口で人と人のふれあいを持ちながら切符を買ったり相談したりすることが大事だと思う。これから考えていただきたい。

●委員長

そのほか、三国ヶ丘駅周辺地区、JR 堺市駅周辺地区について、日ごろから気になっていることなどがあればご意見をいただきたい。

私が 1 点気になっているのが、三国ヶ丘地区の西側に大阪府立だいせん聴覚高等支援学校が近くにある。今の重点整備地区には入っていないが、三国ヶ丘駅がもし通学の最寄りの駅になっているのであれば、検討が必要ではないかと思っている。世森委員、ご存じであれば教えていただきたい。

●世森委員

生徒が住んでいる場所によっては、ほとんどは三国ヶ丘駅を使っているが、百舌鳥駅から歩いてくる生徒もいる。

具体的なコースはわからないが、駅の古墳があるほうから歩いてバス乗り場、タクシー乗り場から歩く生徒と、もう 1 つのコースは、学校から北に歩いて国道 310 号の信号を渡り、陸橋を渡って駅の反対側に

行くという２つのコースがある。それを見かけたことがある。

ただ、歩く面では駅前なので安全であるが、駅の反対側に行く場合は、私もよく自転車で通っているのだが、マンションの１階に工事関係の会社があり、そこに大きなトラックが停車しているために道が狭くなっている。午後２時ぐらいにいつも停まっている。私が通るときは向こう側から歩いている人や自転車で来る人たちを待って、通っていただいてから自分が通るが、通りにくいと思う。生活道路なのでそこに車を停めてもらいたくない。いつもトラックが停まっているわけではないが、午後から停まっていることが多く、生徒は大丈夫か心配している。

●委員長

とても詳しく教えていただいた。今後の検討の大切な情報をいただけたと思う。事務局でも通学路を確認していただき、検討していただきたい。

●副委員長

写真を見ていて気になったのだが、JR 堺市駅周辺地区の道路整備で、右下の②、視覚障害用押しボタンの整備はあるが、これはよく見ると音響ポールの横についていて、一般的には音響ポールにも押しボタンがついていると思う。もう１つ押しボタンが横についている意味はどういうことなのか。視覚障害者の方はどちらを押しても音響が鳴るようになっているのか。ポールのほうの押しボタンはそもそも使えないのか。

●事務局

矢印がずれているのではないかと思う。本来、左側のボタンは単に押しボタン式信号のボタンであり、黄色のほうに矢印がついているのが正しい。これは事務局の資料作成不備であり、この場をお借りしてお詫び申し上げる。

●副委員長

もう１点、堺市にも三国ヶ丘にも生活関連経路にはかなり点字ブロックがあるが、昔ながらのインターロッキングブロックを使っている。点字ブロックとのでこぼこの関係で少し使いづらいのではないか。

見た目も、三国ヶ丘地区①のところは点字ブロックの横のところが少し濃い色でインターロッキングとは違う色を使ってわかりやすくしていただいているが、１つ前の資料の写真を見ると、インターロッキングの上に点字ブロックがあり、色のコントラストが取れていない状況が見受けられる。このあたり、インターロッキングの舗装面の入れ替えは難しいと思うが、コントラストが取れるような検討をいただきたい。

●委員長

最後のご意見については、新設するときにはもちろんこれから配慮していくことになると思うが、既に敷設されているものについては、場合によっては維持管理の中で摩耗対策を兼ねてコントラストのことも意識して再整備、維持管理していくことも必要だと思う。今後の検討の大事なポイントとして押さえておきたい。

●建設局

点字ブロックのコントラストについては現地を再度確認し、必要に応じて対応を検討する。

●委員長

当事者委員の方を中心に、些細なことでも構わないのでご意見をいただきたい。

●杉本委員

車で移動しているので JR の駅はほとんど使わないのであまりわからない。1 回か 2 回乗るぐらいで、視

察に行ったときぐらいである。家の近所も車で移動しているので、ガタガタというのはわかるが、あまり気づかない。

居住地の近くに三叉路があるのだが、曲がるときにものすごくガタガタする。避けるように通るのだが、通ってしまうとガタガタして通りにくいといつも思っている。ほかの車もそうだと思う。

●森口委員

三国ヶ丘駅を 3 月末ぐらいに使ったが、とてもきれいになっていると感じた。1 度降りて、また JR に乗る形で使ったが、使いやすくなっていると感じた。ベビーカーで通ったわけではなく、普通に歩いた感想になるが、とてもよいと思った。

JR 堺市駅のほうも年末年始に通ったが、道も通りやすくなったと感じている。

このごろ雨が多いので、水たまりが歩行の妨げになると思う。下に溜まる部分は雨が降らないと気づかないと思う。ご検討をお願いしたい。

●委員長

今回三国ヶ丘地区と堺市駅周辺地区の地図を改めて見ると、20 年前に作った基本構想ではあるが、きちんとこの地区にある小中学校などが位置付けられて、重点整備地区が非常に広く設定されていると思い、改めて感心した。

国の法律改正に伴い、ようやく小中学校も生活関連施設として位置付けていくことを積極的に推奨しはじめている。それはもちろん子どもたちの通学もそうであるが、災害時の避難所としての位置付けも大切になってきているということで、バリアフリー基本構想において学校を積極的に位置付けていくということは、ほかの自治体ではまだあまりやられていなくて、ようやくやり始めたところである。堺市は既に 20 年前から位置付けられているというのは素晴らしい。

地図をよく見ていただくと、市域の全体的な面的なバリアフリー化が進められやすいように、既に更新されている堺駅・堺東駅周辺地区等の重点整備地区が連続しているというところも堺市が熱心に取り組まれた結果だと見ている。

そういうことも踏まえて、今回見直しにあたっては、これは私見であるが、重点整備地区がきちんと接続している中で、隣の重点整備地区の生活関連経路と今回定めるところとを少しつなぐことによってネットワーク化が可能なのであれば、施設の有無にかかわらずと言うと語弊があるが、つなげることでより安全に快適に移動が促進されるような道路については積極的に位置付けていくというのも 1 つ大切なポイントになるのではないかと思っている。

●土屋委員

今まで堺駅や堺東駅、泉北のほうもそうだが、まち歩きをみんなですることで、感じることがたくさんできたと思う。今後、三国ヶ丘駅と堺市駅のまち歩きの予定があるのか。ぜひやっていただきたい。

2 点目が、三国ヶ丘駅は世界遺産でもある仁徳天皇陵にも近い。一番近いのは百舌鳥駅であるが、三国ヶ丘駅からも歩いていく方は多々いる。三国ヶ丘駅で降りて仁徳天皇陵の横を通って、日本中で話題の大仙公園のバルーンに行くお客さんも非常に多い。SNS でも話題になっている。ということは、堺市の住民だけでなく、外からもたくさんのお客さんが三国ヶ丘、堺市に注目して来ていただいている。ぜひ三国ヶ丘から仁徳天皇陵のルートを頭に入れていただきたい。大仙公園はバルーンで非常に盛り上がっているの

で、そこを意識に入れた今後の展開をお願いしたい。

日本で線路の踏切に視覚障害者の誘導ブロックが一番たくさんついているのは堺である。堺では 10 カ所以上についており、さらに今年度中に 20 カ所つく。そういう市町村は日本ではどこにもない。堺が一番である。このように堺は障害者のバリアフリーに富んでいる。世界遺産の仁徳天皇陵に行ったら全然違う、目が悪くても一人で歩けるとか、車いすでも行きやすかったとか、そういう感じで話題になるような、世界遺産仁徳天皇陵、大仙公園を入れた構想を考えていただきたい。

●委員長

とても嬉しく頼もしいご意見であった。ぜひ世界遺産がある堺ならではの世界に誇れるバリアフリー、観光バリアフリーも意識したような構想づくりを進めていけたらよい。

まち歩きについて事務局からお願いする。

●事務局

まち歩きは実施する予定である。日程調整は改めてお知らせするが、皆様にご参加いただき、実際に現地や駅舎を歩いてバリアフリー点検ができたらと思う。その際はよろしくお願いしたい。

土屋委員から嬉しいお言葉をいただいた。土屋委員にもご協力いただき、踏切の誘導ブロックに関しては建設局も前向きに取り組んでいただき、設置が順次進んできた。

さらに、バリアフリーを含めて、堺市を誇れるまちにというお言葉もいただいた。当然バリアフリー、ユニバーサルデザインという観点に関しては、皆様が移動しやすい、生活しやすいというところが第一かもしれないが、それに加えて、観光や楽しさなどもバリアフリーを通じてまちを作っていけたらと思っている。引き続き皆様のご協力をいただきたい。

●委員長

冒頭の挨拶でもお話ししたが、これからのバリアフリー、ユニバーサルデザインは、さらにステップアップするという意味では、観光や楽しさ、ただ移動できるだけでなく、楽しめるということが大切なポイントになると思っている。これからの検討が非常に楽しみになってきた。

４．泉ケ丘駅前地域の再編整備事業について

（泉北ニューデザイン推進室から資料４－１～４－５について説明）

○委員からの意見、質疑等

●委員長

泉ケ丘駅周辺地区はビッグ・アイやビッグバンがあり、かつて数十年前は日本でも最新のバリアフリーを意識したまちづくりが行われたエリアであるが、年数が経ったことによって今の基準から見ると少し動線の改善が必要である中で、今回大規模な再開発が行われるということである。こういう機会にきちんと当事者参画で検討し、単に移動等円滑化基準を満たしているというだけでなく、本当に皆さんにとって使いやすい、快適に楽しい空間にするためにも、皆さんの協力が必要だと思っている。

ただ、こういう開発はどうしても民間主導で行われることが各都市で多い中で、再開発に当事者参画

を実施した例は全国を探してもまだない。国の都市局もそういう意識がほとんどないのが現状で、堺市とNANKAIが公民連携による開発事業の中で当事者参画の機会を位置付けたことは本当に画期的なことだと思っている。私としても大変期待している。

委員の皆さんも今後ワークショップへの協力依頼などもあると思うが、ぜひ積極的に参加いただき、いい空間を作れるように堺市、NANKAIと一緒に考えていければよいと思っている。

大きな開発で気になっていることも多々あると思う。どんなことでも構わないので、今の説明に対して質問やご意見をお願いする。

●事務局

本日欠席の岸本委員から事前にご意見をいただいているので、事務局から紹介する。

岸本委員は南区の自治連合会の会長でもあるので、再開発については大変関心を持っておられる。当事者参画の機会を設けることに対しては大変いいことだと思うので、引き続き丁寧に進めていただけると駅周辺もよりいい空間になるのではないかというご意見をいただいている。

●委員長

ぜひ地元の地域住民の方とも一緒に考えていけると、本当にいい空間になっていくのではないかと思う。

●中川委員

初めて参加させていただいた。皆さんがいろいろなことを考えていただき、新しい事業をしていただいているのを見て、すごく楽しみにしている。設備がきれいに整ったら散策したいと思っている。泉ケ丘駅周辺の再開発も楽しみにしている。

●委員長

ぜひご協力をお願いしたい。

●豆多委員

今グループホームに住んでいる。泉ヶ丘は近いので、商業施設で買い物ができるのを楽しみにしている。

●久保委員

泉ケ丘駅ができてかなり年数が経ち、周辺も様変わりしている中で、商店連合会とも連携を取りながら賑わいのあるまちになっていけるとよい。NANKAIの開発に大きく期待を寄せている。

●委員長

NANKAIから補足や、今皆さんから聞いたことを踏まえて感想などをいただきたい。

●NANKAI

泉ヶ丘は、まちができてから約 50 年経っている。50 年経ってからもいろいろなものが建ったり改修している。バリアフリーという観点からは、段差ができたり、通路がわかりにくくなったりというところがあった。

南海電鉄では約 10 年前に駅前施設を取得し、現在、堺市と連携して駅前整備に取り組んでいるところである。整備は段階的に進めていくこととなるが、20 年先を見据えた将来のまちづくりを進めるに当たり、委員の皆様からご意見をいただきたい。

●委員長

本当に楽しみなプロジェクトである。これは全国にも発信していけるような、そういうプロジェクトになるのではないかと思う。

全体を通してご意見、ご質問があればいただきたい。また、オブザーバーで参加の三星教授からもコメントいただきたい。

●三星教授

オブザーバーであるが、指名にあずかったので少し申し上げたい。２点ある。

１つめは、過去の計画が策定された時代のバリアフリーレベルとしては基本的に整備が終わったので、さらにバリアフリーレベルを嵩上げする時代に入ってきている。これは委員長も強くおっしゃっていたとおりである。

細かいことを言えば、基本構想の中に維持管理に関する項目が当時はなかった。今では都市型のバリアフリーの場合、維持管理がものすごく重要になっている。どの自治体もここをちゃんと入れていかなければいけない。記載について、国の整備項目の中にまだ入っていないと思うが、維持管理のことについて追加する分について、どなたからも異論はないと思うので、次の改定のときには入れなければいけないと思う。もしくは基本構想で書きづらければ、全体の中で記載するか、また、工事中のバリアフリーについても考える必要がある。工事中で今まで通れていたところが通れないといった、最近は気をつけるようにはなってきたが、まだまだなところがある。

信号機については、警察は一生懸命やっていることは知っているが、大阪府全体のバランスの中では整備が遅れている。これは課題であると思う。大阪府の予算の中でも何とかしないと、府の中に位置付けをお願いしたい。維持管理も含めて、過去の 2000 年代のバリアフリー法で、現代から見るとまだ遅れているようなものを底上げ、これは手間と費用がかかるが、頑張ってやらなければいけない。

先日も難波をチェックしたが、難波で障害者が渡れる交差点は所感としてはないと感じた。主要な信号機が設置されている場所が 20 ほどあるが、２つ、３つしか渡れないと感じた。まとめて解決する必要性を感じた。鉄道会社は一生懸命頑張っている、道路部局も頑張っているのに、信号機がこんな状態では、車いす使用者と視覚障害者が本当に大変な目に遭っているという状態がまだ積み残されている。これは 20 年来の積み残しであると思う。

２つめは、新しい開発がいろいろ出てきている。特に堺市は自分のところで決着する公園などもユニバーサルデザインも含めて頑張って今やっている。ところが、民間企業や鉄道事業者と一緒になると、途端に検討が難しくなる。特に当事者参画、これは私の最近の経験において、当事者参画したところでは大きな失敗はない。絶対に取り組むべきなのだが、一緒に連携しているところはなかなか進まない。

最後に１つ、泉北ニュータウンの最大の欠点は、50 年前に全国の住宅公団と都道府県あるいは市町村が一緒になって、当事者参画を全くせずに、国民の意見を全く聞かずに、ニュータウンが作られた。そのニュータウンの作り方の元というのは、イギリスのニュータウンづくりをそのまま持ってきて、日本に合わないところを修正した。そういう作り方をしているから現在の高齢化や人口減少につながっている。

また、都市計画法の中で規定している建築基準法の中での用途地域が非常に厳しく制限されているため、住宅以外、基本は作れない。そこも含めて、住民の声をしっかりと聞かないとまた同じことになる。これならよかろうと建築屋と大学の先生が机の上で考えて図面を引いてやっても絶対に成功しない。これは私の意見である。南海、JR、堺市に関してはぜひとも当事者参画で住民の声を入れていってほしい。建築物系での当事者参画はなかなか進まないが、万博の経験でよくわかった。

例えば今南海が考えられているお手洗いはこんなものであるという場合、皆さんの意見はどうか。ただし、

条件があり、何㎡で、これ以上のものは申し訳ないが作れない。その条件の中で最大に良いものを作りたいので、当事者の方、座ってみてくださいということはできるはずである。入口の扉はどうかかと検討できるはずである。

南海だけでなく、市も JR もそうだが、個別のことであれば当事者参画はいくらでもできる。建築物は手の内でやるという従来の習慣を修正し、堺市が先頭を取ってやっていきたい。

●委員長

全体を通して、ご意見、ご質問はないか。もし後で気になったことがあれば事務局にご連絡いただきたい。

柳原先生からご意見をいただきたい。

●副委員長

私も堺市や三国ヶ丘をよく使うが、私の気づいていないところもたくさんある。皆さんとまち歩きをしたいと思う。

泉ケ丘駅にも近畿大学の医学部と看護学部ができ、私は直接関わっていないが、当事者参画の中に医学部や看護学部の学生が参加するといろいろな展開があると思う。学生も参加させたうえで泉ヶ丘の展開を検討してもらいたい。

●委員長

堺市はこの二十数年、コツコツときちんと取り組まれてきた結果が泉ヶ丘の再開発で当事者参画をやってみようという機運になり、観光面でも、3 年前に鉄炮鍛冶屋敷のバリアフリーを考えてみようとか、いろいろな新しいことに挑戦してくださり、とてもいい体制ができていると思っている。この会議の皆さんにもご協力いただきながら、引き続きいろいろとチャレンジできたらよいと思っている。

本日はありがとうございました。

（以上）